



受験英語の見取り図



1) 文型がわかる→訳し方が決まる!

■文型の基本訳

① SV	【基本訳】「SはVする」	(例) Mizuki lives in Nagoya now.
② SVC	【基本訳】「SはCである／になる」	(例) My father is a philosopher.
③ SVO	【基本訳】「SはOを[に]Vする」	(例) We study English.
④ SVO ₁ O ₂	【基本訳】「SはO ₁ にO ₂ を与える」	(例) I gave my wife a ring.
⑤ SVO _C	【基本訳】「SはOをCにする」	(例) The news made Rei happy.
	【基本訳】「SはOをCだと思う」	(例) You will find this movie exciting.

上記5つのパターンをまとめて「5文型」と呼びます。「英文を正しく読解する」とは、その英文がどの文型かを判断し、それぞれの【基本訳】に単語の意味をあてはめることです。この【基本訳】は丸暗記しなければなりません。

■文の要素

S 主語 (Subject)	日本語の「何は、何が」にあたる部分。 <u>名詞が担当</u> 。 (例) <u>Yuki</u> came to Nagoya eight years ago.
V 動詞 (Verb)	日本語の「どうする、どうである」にあたる部分。 (例) Albert <u>teaches</u> physics at this college. Our cats <u>are</u> very cute.
O 目的語 (Object)	日本語の「何を、何に」にあたる部分。 <u>名詞が担当</u> 。 (例) We play <u>soccer</u> almost every day. Kimie reached <u>the theater</u> at five.
C 補語 (Complement)	日本語の「どんなだ」にあたる部分。 <u>名詞か形容詞が担当</u> 。 (例) My mother is <u>a vet</u> . (例) His words made us <u>angry</u> .

「文の要素」とは5文型の「主要登場人物」だと考えてください。ここではどの要素をどの品詞が担当できるかを覚えてください。「主語になれるのは？」と問われたら「名詞！」と、「目的語になれるのは？」と問われたら「名詞！」と、「補語になれるのは？」と問われたら「名詞と形容詞！」と即答できるようにしてください。これらも丸暗記する必要があります。

<参考>

拙著では 主語 動詞 目的語 補語 の記号を使っています。

■品詞の基礎知識 品詞を知らないと瀕死? 品詞を知らないとピンチ!

名詞 … SかOかCになる。

(例) Everyone has a dream. (SとO)

Kazu is a superstar. (SとC)

Rika was born in Osaka. (前置詞のO)

形容詞 … 名詞を修飾するかCになる。

(例) a useful book (名詞を修飾)

This book is useful. (SVCのC)

I find this book useful. (SVOOCのC)

副詞 … 名詞以外を修飾する。

(例) a very cute turtle (形容詞 cute を修飾)

Miki dances happily. (動詞 dances を修飾)

Luckily, I found a dictionary. (文を修飾)

前置詞 … 前置詞+名詞で、形容詞句か副詞句をつくる。

(例) a cat in the box (形容詞句)

go to Namba (副詞句)

ここでは英語の品詞の中でも特に重要な4つを解説しています。これらを覚えることで文型を正確に判断できるようになります。どうか面倒くさがらずに覚えてください。理想を言えば、名詞・代名詞、動詞・助動詞、形容詞・副詞、前置詞・接続詞は具体例をスラスラと言えてほしいのですが…。

■文型の判断法 品詞を知っているとうれC! 品詞を知っているとたのC!

(1) SV ⇒ SV

(2) SV [形] ⇒ SVC

(3) SV [名] ⇒ SVC ※S = [名] のとき

SVO ※S ≠ [名] のとき

(4) SV [名] <名> ⇒ SVO₁O₂ ※[名] ≠ <名> のとき

SVOC ※[名] = <名> のとき

(5) SV [名] [形] ⇒ SVOC

文型とは一言で言ってしまうと、動詞を中心とした品詞の並べ方のことです(ですから、品詞をしっかり理解して覚えていないと文型はわかりません)。副詞は文の要素(S, V, O, C)にならない脇役なので、文型を判断する際は無視してください。

ここまでの内容は授業を受ける「前提知識」です。ひとつでも知らないこと・覚えてないことがあるとまずいです。早急に頭の中に叩き込んでください。また、これから勉強していく際に、不明点があれば辞書・文法書を参照することが不可欠です。手を抜かず、こまめに調べてください。

2)「かたまり」に強くなろう!

2語以上の単語が意味的にまとまっていて、その中にS Vを含まないものを句、含むものを節といいます。ここでは句と節を区別せず、まとめて「かたまり」として扱います。

■名詞のかたまり

- (1) To study a foreign language is good for your brain.
- (2) The girls enjoyed dancing on the stage.
- (3) The problem is that we do not learn the lessons of history.
- (4) I want to start a blog, but I do not know what to write.
- (5) Where the scientist lives is a secret.
- (6) I wonder if Keiji will come to Yonezawa with us.
- (7) Whoever talks with Mr. Odagiri comes to like him.

(1)は不定詞句(名詞的用法)でSの位置に、(2)は動名詞句(Vingの名詞的用法)でOの位置に、(3)は接続詞thatが導く名詞節でのCの位置に、(4)は疑問詞+to不定詞でOの位置に、(5)は間接疑問文でSの位置にあります。このように、名詞のかたまりはSかOかCの位置、つまり、主にVの前後に登場します。(6)のif節は名詞節になる場合と副詞節になる場合がありますが、ここではOの位置にあるので名詞節です。(7)のwhoever節も名詞節になる場合と副詞節になる場合がありますが、ここではSの位置にあるので名詞節です。

■形容詞のかたまり(後置修飾)

- (1) Minoru taught us the history of sugar.
- (2) Akane has a lot of birds to look after.
- (3) The cats playing in this room are all very cute.
- (4) Kazuma likes books written in English.
- (5) I have a friend who is a soccer player.
- (6) This is the bank at which my brother works.
- (7) I will never forget the day when I first met Taro.

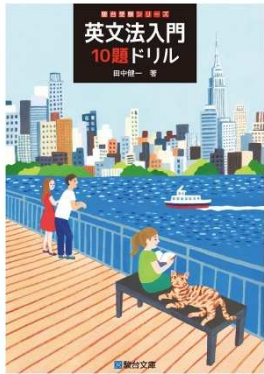
(1)は前置詞句が、(2)は不定詞句(形容詞的用法)が、(3)は現在分詞句(Vingの形容詞的用法)が、(4)は過去分詞句(Vp.pの形容詞的用法)が、(5)は関係代名詞節が、(6)は「前置詞+関係代名詞」で始まる関係詞節が、(7)は関係副詞節が、それぞれ名詞の直後にあります。このように、形容詞のかたまりは主に名詞の直後に登場します。日本語では「(クマについての) 本」のように修飾語(カッコの部分)が名詞の前に来ますが、英語では a book (about bears) のように名詞の後ろに来ます。英語は「後置修飾」の言語だと覚えておいてください。

■副詞のかたまり

- (1) Fossil fuels are used in most countries.
- (2) I had few friends when I was in college.
- (3) I want to study in the U.S. to improve my English.
- (4) Seeing me, the baby began to cry.
- (5) Seen from a space ship, the earth looks blue.
- (6) If it rains heavily tomorrow, the game will be postponed.
- (7) Whatever Kenji may say, we shouldn't believe him.

(1)は前置詞句が文末（S V～の後）に、(2)は接続詞が導く副詞節が文末に、(3)は不定詞句（副詞的用法）が文末に、(4)は分詞構文（Ving の副詞的用法）が文頭（Sの前）に、(5)は分詞構文（Vp.p.の副詞的用法）が文頭に來ています。このように、副詞のかたまりは主に文頭（Sの前）か文末（S V～の後）に登場します。(6)の if 節は名詞節になる場合と副詞節になる場合がありますが、ここでは文頭にあるので副詞節です。(7)の whatever 節は名詞節になる場合と副詞節になる場合がありますが、ここでは文頭にあるので副詞節です。

☆☆書籍紹介☆☆



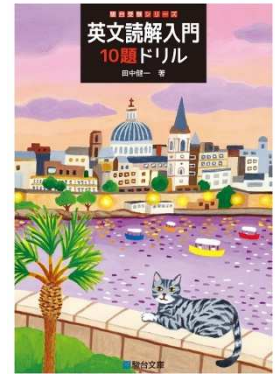
★英文法入門 10 題ドリル

入門 基礎 中級 上級



★英文法基礎 10 題ドリル

入門 基礎 中級 上級



★英文読解入門 10 題ドリル

入門 基礎 中級 上級

※全国の有名進学校だけでなく、大学でも採用されている、知識を血肉化するための問題集です。

★英語復文勉強法

「復文」はあなたの英語力を爆発させる可能性を秘めた、知る人ぞ知る勉強法です。

- ①英文を和訳し、答え合わせ
- ②和訳を見て元の英文を復元し、答え合わせ

これを習慣化することで、あなたの成績は飛躍的に向上することでしょう。必要なのは英文とその和訳、そして紙とペンだけです。

